同志社大学「次世代研究者」プロファイル

2022年6月現在

			基本情報			022年0月現在
フリガナ 氏名	=シヵワ 西川	カズキ 和樹	生年	1986年		
<u> </u>	2371	个 山行到	_ '	1000		
氏名(英字)	NISHIKAV	VA Kazuki	メールアドレス	kanish	ik(a)mail.doshisł	na.ac.jp
学歴	2005年4月 2009年9月 2010年4月 2013年3月 2014年4月 2022年3月	同志社大学文学部英 同志社大学文学学部英 同志社大学課程 学院学 同志社大期学大学 科 同志社前期学大学 修院学 「博士社 大学課程 学院学 「博士後期学 で 「博士後期界 「「博士後期界」 「「「「「「「「「「「「「「」」」」 「「「「」」」 「「「「」」」 「「「」」」 「「」」」 「「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」」 「「」」 「「」」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」」 「」 「	文学科 卒業 ローバル・スタデ ローバル・スタデ ローバル・スタデ	ディーズ研究科グ ディーズ研究科グ ディーズ研究科グ	ブローバル・スタ ブローバル・スタ	゚゚゚゚゙ディーズ専攻 ゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゙゚゚゚゚゚゚゙゚゚゙゚゚゙゚
職歴	2014年10月-2019年3月 公益財団法人 高麗美術館 研究員 2022年4月 - 現在 同志社大学研究開発推進機構及びグローバル地域文化学部特別任用助 手(有期研究員)					
指導教員	富山一郎	教授	取得学位	博士 (現代アジア研 究)	専修外国語・読解可能な外国語	英語
研究活動						
研究分野	食文化研究					
科研費分類による研究分野	社会学、およびその関連分野					
研究テーマ	「料理」の集団創出力の探求—アジア・太平洋戦争を生きた料理家をめぐる歴史的アプローチ から					
研究概要	「料理」は、外部環境から調達した食物を人間にとって摂取可能なものとするために必要不可欠な過程ですが、それだけでなく、人びとの関係性をつくりだす集団創出の営みとしての役割を果たしてきました。「料理とは他者に出会うための円環運動である」とは、ある料理家の言葉ですが、これにあるように、人が日々生き延びるための過程のなかで、自然や他者と出会い、そうした外部の者たちとの関係性を作り出す営みが「料理」であるのです。本研究は、こうした視座から「料理」という行為を捉え直し、これまで「料理」の周辺にいかなる人々のつながりがつくりだされたか、また、その集団は同時代のいかなる社会的、政治的力学のなかに位置づけられていたか、ということについて考察を深めます。とりわけ、本研究では社会が未曽有の食糧難を経験することになった、日本のアジア・太平洋戦争期に焦点を当て、この時代に栄養・料理を専門とした実務者の足跡をたどります。					

同志社大学「次世代研究者」プロファイル

研究業績	◎共著書 ・富山一郎・鄭袖鎮編著『軍事的暴力を問う―旅する痛み』『青弓社)、2013年 ※担当執筆箇所第六章、西川和樹、「廃墟から紡ぐ絵と言葉――大田洋子がまなざす原爆ドーム」 pp.151-173. ◎論文 ・『「生活」の焦点化――『暮しの手帖増刊 山のあなたの空とおく』の生活記述」、西川和樹、『同志社グローバル・スタディーズ』第8号、pp.141-160、2018年3月 ・「料理家、東佐与子――パラノイアと呼ばれた料理家」、西川和樹、『文化/批評[cultures/critiques]』 第9号、pp.3-20、2018年9月 ・「栄養士、近藤とし子と危機の時代の栄養学」、西川和樹、『同志社グローバル・スタディーズ』第10号、pp.67-86、2020年3月 ・『「栄養」と「料理」を一つに――香川綾と帝国日本の軌跡」、西川和樹、『同志社グローバル・スタディーズ』第12号、pp.119-141、2022年3月 ②書評 ・「境界から思考する―『方法としての境界、あるいは労働の多数化』が問いかけるもの」、西川和樹・安里陽子・小路万紀子・高橋侑里、『同志社グローバル・スタディーズ』第5号、pp.133-144、2015年3月 ・「皮肉から紡がれる歴史―書評:Cold War Encounters in US-Occupied Okinawa―」、西川和樹、『同志社グローバル・スタディーズ』第7号、pp.127-130、2015年10月 ・「『畳とむ 것들의 존재론』」・・긍정하다・、・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
所属学会	
	キャリア関連
志望進路	教員(大学等)、研究員(研究機関等)、料理家
進路	
自己PR	「料理」が「ことわり(理)をはか(料)る」と書くように、料理をするという営みのなかで、人々はいつの時代も社会の様々な制約と折衝を重ねながら、食事を整えてきました。そのことの意味について、これまでの学術研究では深く考察されてきませんでしたので、本研究を皮切りに台所からまなざす歴史や社会について、人文的な探求を進めるべく研究を遂行しています。
取得資格等	中学校·高等学校教諭一種免許状(英語)

※メールアドレスの(a)は@を表しています